

生成 AI×ID で考える授業改善

金西 計英(徳島大学 高等教育研究センター 教授)

田巻 公貴(徳島大学 高等教育研究センター 助教)

講師略歴

【金西計英】徳島大学教育学部卒業。鳴門教育大学大学院学校教育研究科修了。2000年、博士(工学)を徳島大学より取得。関西学院大学、金沢工業大学、四国大学を経て、1999年より徳島大学へ。2009年より徳島大学大学開放実践センター教授(現在は高等教育研究センター教授)。教育工学、教育システムを専門とし、高等教育のe-Learningについての研究に取り組む。また、高等教育におけるアクティブラーニングの実践の研究にも取り組む。

【田巻公貴】東京理科大学理学部卒業。東京理科大学大学院理学研究科科学教育専攻在学中。修士課程在学時に高等学校非常勤講師の経験を経て、2024年より徳島大学高等教育研究センター助教。教育工学、インストラクショナルデザインを専門とし、授業をより効果的、効率的、魅力的にするための研究に取り組む。また、生成 AI を活用した実践研究にも取り組む。

プログラム概要

本ワークショップでは、インストラクショナルデザイン(授業設計)の基本と生成 AI の活用方法を踏まえながら、自身の授業を設計・改善する手法を実践的に学びます。

はじめに、授業の目的や学習目標、評価方法など、授業設計において重要となる基本的な考え方を確認し、どのような観点から授業を構想・改善していく必要があるのかを学びます。次に、生成 AI の基本的な使い方や、より適切な出力を得るためのプロンプト設計について扱います。

そのうえで、参加者自身の授業やシラバスを題材として、生成 AI と対話しながら授業案の作成、改善点の検討などを行います。後半では、グループ内で AI の出力を共有し、その妥当性や有用性について相互に批評します。これらの活動を通して、生成 AI が得意とすることや限界、教育場面で活用する際の留意点について理解を深めます。

本ワークショップを通して、参加者が自身の授業改善に生成 AI をどのように取り入れられるかを考え、今後の教育実践に活かすための視点を得ることを目指します。

準備物・事前課題

1. Wi-Fi に接続可能なパソコン
2. 可能であれば、ご自身が担当している授業のシラバスや授業計画案

主な受講対象者

1. 大学・短期大学・専門学校の教員(分野不問)
2. カリキュラム設計や ICT 活用、生成 AI 利活用に関心のある教育関係者
※ICT 初心者でも参加可能です。生成 AI の使用経験がなくても問題ありません。

到達目標

1. 生成 AI を利用してシラバスを設計、改善することができる。
2. 他者と協働して、生成 AI が出力したシラバス案の妥当性・創造性・実用性を分析し、具体的な改善提案を行うことができる。
3. 生成 AI を教育に活用する際の可能性や限界、倫理的な留意点を説明し、生成 AI の出力を批判的に検討して適切に活用することができる。